

すぎのこつうしん

平成27年 3月号
古川東町カトリック保育園

「四つの心」で出発(たびだち)に備えましょう

先月の大雪の時、保護者のお父さん2人が朝早くから滑り台作りに来てくれ、立派な滑り台が出来ました。子ども達は大喜びで滑り台が溶けてなくなるまで毎日遊んでいました。お父さん達に感謝です。それ以降はあまり雪も積もらず残念です。子ども達は毎日少しずつ暖かくなった園庭で砂遊びを満喫しています。

3月は一年間の総まとめの季節、そして来年度に向けての準備の時期でもあります。「4つのこころ」あいさつ、ありがとう、あやまりあう、あたえあうがこの一年間でどれ程育んでこれたかを振り返る時です。

全てのことに感謝し生活できたでしょうか。

「ありがとう」と心から言えたでしょうか。

誰に対しても明るく挨拶ができたでしょうか。

全ての人を救い、自らも謝ることができたでしょうか。

人を認め、困っている人がいたら助けることができたでしょうか。

この機会に子どもと一緒に考えてみましょう。

人は誰一人として完璧な人間はいません。自分自身のいたらなさを認めることは、人を救うことが出来ることに繋がると思っています。

以前にも紹介した「子どもが育つ魔法の言葉」から「子は親の鏡」を記載いたします。

子どもを丁寧に育てていきましょう！！

<園長 平野 義子 記>

「子は親の鏡」

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる

とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる

不安な気持ちで育つと、子どもも不安になる

「かわいいぞうな子だ」と言っていると、子どもは、みじめな気持ちになる

子どもを馬鹿にすると引っ込み思案な子になる

親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる

叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう

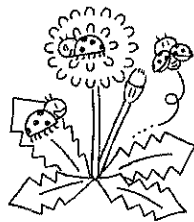
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる

広い心で接すれば、キレる子にはならない

誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ

愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ

認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる



見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりを持って育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

「子どもが育つ魔法の言葉」から
ドロシー・ロー・ノルト/レイチャル・ハリス著 石井千春 訳



3月の行事予定

- 2日(月) 静修の日
- 3日(火) ひな祭り会
- 11日(水) 地震訓練・絆の日
- 13日(金) 誕生会
- 18日(水) お別れ会
- 20日(金) 第45回卒園式

3がつのおたんじょうびのおともだち

おめでとう！！



☆お父さん・お母さんから☆

生後2ヶ月から入園した〇〇は、ママと離れるのがイヤ〜!と登園の時に泣いたりしたことはありませんでした。早く迎えに行けば、「何で早いー!もっと遊びたいー!」と駄々をごねられ「今日はお休みしようよ」と言っても「ヤダー!保育園に行く!!」とききませんでした。母親としては、あら〜と寂しい気持ちはもちろんありましたが、それ程カトリック保育園が大好きで楽しくて仕方がなかったのだと思います。お友だちとケンカした傷、勢い余って勝手に転んだ傷、自分でぶさけて椅子から落ちた傷、全く大したことの無いことを先生方は1つ1つ丁寧に謝って下さり、こちらの方がいつも申し訳ない気持ちでいっぱいでした。子どもたちを本当に大切に預かって下さっていることに毎日感謝していました。

なによりも4年前の震災の時には、私の職場が近かったので、まだ何卒も大きく揺れ動く中保育園に向かうことができたのですが、何が起きたのかわけもわからず、自分の身を守るだけで精一杯だったあの中で、大勢の泣きじゃくる子どもたちを必死に抱きかかえ、円を囲んで守って下さっていた姿を絶対に忘れません。

〇〇が東町カトリック保育園に入れた事、育てていただいた事、親として本当に誇りに思います。先生方、お友だちのみんな、本当に本当にありがとうございました!!

<ひつじ組 〇〇 〇〇くんのお母さん>

長女の〇〇、次女の〇〇、そして三女の〇〇と10年間、3人の娘をいつも優しく見守ってくれた先生方、保育園、マリア様。来実もいよいよ4月からピカピカの1年生です。4月からは保育園の送迎もなくなり、親としては少し楽になるなとホッとするところもありますが、やっぱり10年間通った保育園とさようならをするのは、正直とーっても寂しいです。毎日子ども達を迎えに行くと「おかえりなさい」と笑顔で迎えてくれる先生方にも会えなくなるのは寂しいです。

子ども達はみんな保育園が大好きでした。良いお友達に恵まれて、アットホームな雰囲気の中で私たち親も安心して仕事ことができました。カトリック保育園の教えもきちんと子ども達の心に宿っていて、みんな優しい心を持って成長しています。ありがとうございます。

〇〇にとってあと1ヶ月の保育園生活を、お友だちと楽しく毎日過ごして欲しいと思います。まだ少し早いですが、10年間ありがとうございました。

<ひつじ組 〇〇 〇〇ちゃんのお母さん>



先日保育参観があり、一年間の子ども達の成長を見ていただけたかと思います。特に0~2歳児のクラスは窓に目隠しをしていましたので、いつもの子どもたちの姿を見て“家ではやらないけど園ではこんなこともやっているんだ!!”と感激していた保護者も多かったようです。

泣いて保育園に入園した乳児が歩きだし、話をするようになり、泣いて遊んで喧嘩しながらも友だちとの絆が強くなる。といった保育園で一緒に時を刻んだ子ども達はたくましくなり、今巣立って行きます。

誕生して何もないところから、一つひとつ新しい経験を積み重ねていく子ども達にこれからも不安や緊張を“たのしい!!”“やってみたい!!”の気持ちに変えてあげる環境を私たち職員や保護者の方々、そして保育園のいろんな年齢の兄弟のような子ども達みんなまでバックアップしていきたいですね。そしてどんどん成長して欲しいと思います。

毎年私から子ども達へのメッセージは

”いつも目がキラキラかがやいている子でいてね!!”です。

<統括主任 阿部 裕美>



クラスだより

☆はんび組 (0歳児)

<ねらい>

- ・4つの心を育みながら1歳児クラスに期待を持つ。
- ・友だちと同じ遊びを楽しんだり、一人遊びに集中する。

<家庭連携>

- ・挨拶をすることやありがとうと感謝すること、いけないことをしたら謝ることを知らせていきましょう。
- ・一人で集中して遊んでいる時はそっと見守り、集中力がつくようにしましょう。

☆ひよこ組 (1歳児)

<ねらい>

- ・4つの心を言葉で表せるようになる。
- ・進級に期待を持って過ごす。

<家庭連携>

- ・4つの心を言葉や行動で表し、その大切さを知らせていきましょう。
- ・進級することを楽しみにし、自信が持てるようたくさん褒めたり認めてあげましょう。



☆ことり組 (2歳児)

<ねらい>

- ・ひとつ大きいクラスになる事を喜び、4つの心を言葉で表すようになる。
- ・食事を終えた後の食器を重ねて片付ける。

<家庭連携>

- ・進級への喜びが意欲へと繋がるよう、家庭でも励ましていきましょう。
- ・食べ終えた食器の片付け方を知らせ、机の上をきれいにする喜びを感じられるようにしましょう。

☆こねこ組 (3歳児)

<ねらい>

- ・4つの心を互いに意識し合い、生活する。
- ・進級することに喜びや期待を持って意欲的に過ごす。

<家庭連携>

- ・挨拶、ありがとう、与え合う、謝り合う、の4つの心を言葉で表せるよう伝えていきましょう。
- ・進級に向けて、身の回りのことを自分で行おうとするよう励ましていきましょう。

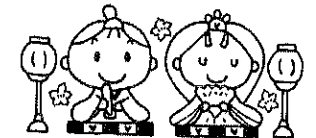
☆うさぎ組 (4歳児)

<ねらい>

- ・新しい出発(たびだち)に期待を持って4つの心が育つ。
- ・基本的な生活習慣を身に付け生活する。

<家庭連携>

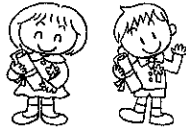
- ・年長児になることへの期待を持てるよう励ましながら、生活や遊びの中で4つの心が身に付くようにしていきましょう。
- ・自分でしようとする姿を褒め、自信を持って過ごせるよう見守り、必要に応じて声を掛けましょう。



☆ひつじ（5歳児）

<ねらい>

- ・四つの心が育ち、出発（たびだち）に備える。
- ・就学へ向けて期待を持ち、自信を持って生活する。



<家庭連携>

- ・家庭でも四つの心をお父さんお母さんが実践し、お子さんが素直に表せるようにしましょう。
- ・小学校入学へ向けて期待が膨らんでいる子どもも多いですが、不安もあります。何事も励ますことで自信を持たせましょう。

☆給食室より

- ・新年度に向けてもう1度食事のマナーを見直しましょう。「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶、箸やスプーンの持ち方、基本的なことですが原点に戻ってみてはいかがでしょうか。

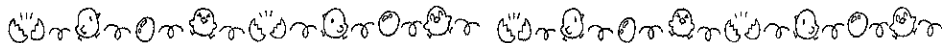
~~~~~ お知らせ ~~~~~

☆3月3日より 林 知代保育士が産休に入り  
産休・育休から岡崎 ひとみ保育士が復帰しひよこ組に入ります。  
よろしくお祈りします。

☆3月23日より、新年度準備の為クラスを移動します。  
自分たちで所持品を一緒に持って行って、引っ越し気分を楽しみながら  
行ってきたいと思います。  
保護者の方々にもその間ご迷惑をおかけ致しますが、宜しくご協力下さい。

☆車をブロック塀の方に駐車した時、他駐車場側溝に石を入れているお子さん  
がいるようです。保育園の方で全員に話しましたがご家庭でも指導を  
お願い致します。

一年間 保護者の皆様にご協力を頂きましてありがとうございました！！



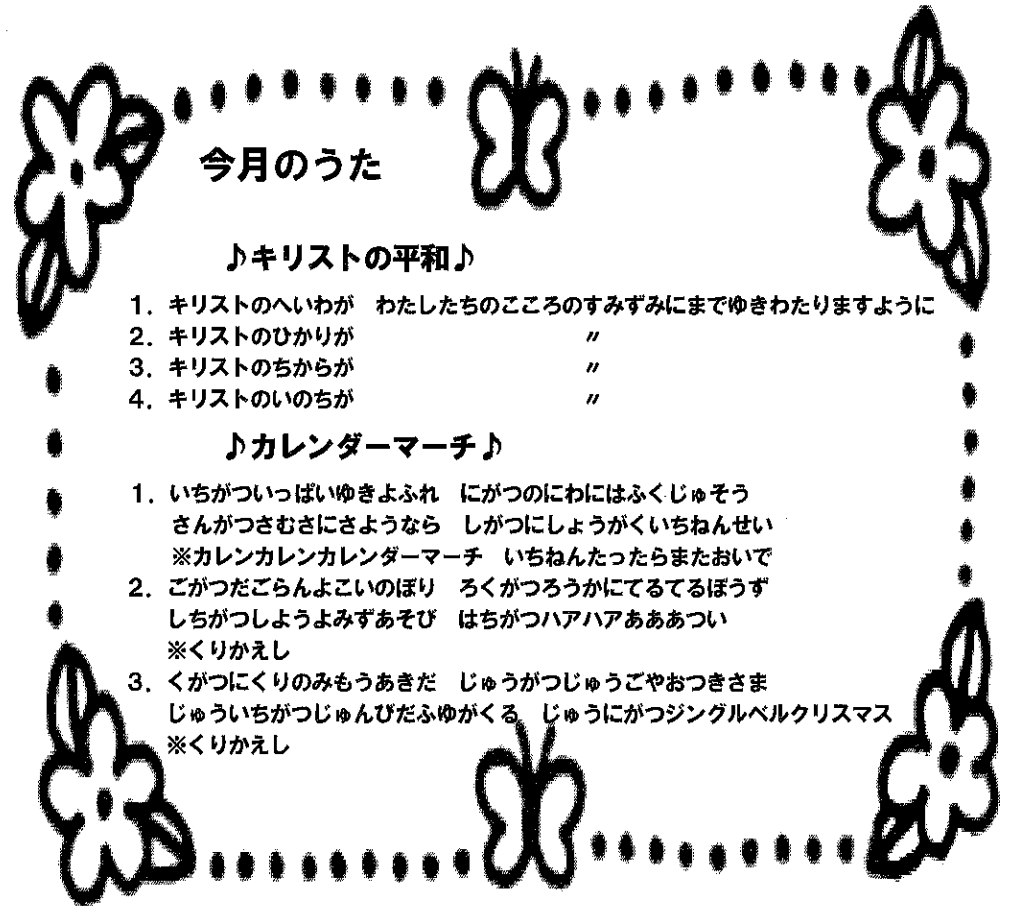
今月のうた

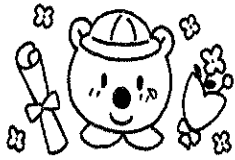
♪キリストの平和♪

1. キリストのへいわが わたしたちのこころのすみずみにまでゆきわたりますように
2. キリストのひかりが //
3. キリストのちからが //
4. キリストのいのちが //

♪カレンダーマーチ♪

1. いちがついっぱいゆきよふれ にがつのにわにはふくじゅそう  
さんがつさむさにさようなら しがつにしょうがくいちねんせい  
※カレンカレンカレンダーマーチ いちねんたったらまたおいで
2. ごがつだごらんよこいのほり ろくがつろうかにてるてるぼうず  
しちがつしようよみずあそび はちがつハアハアあああつい  
※くりかえし
3. くがつにくりのみもうあきだ じゅうがつじゅうごやおつきさま  
じゅういちがつじゅんびだふゆがくる じゅうにがつジングルベルクリスマス  
※くりかえし





## あなたの一分間拝借！

2015年3月1日

♪♪ いつのことだか 思い出してごらん あんなこと こんなこと  
あったでしょう うれしかったこと おもしろかったこと いつになってもわすれない！♪

卒園式のうた『思い出のアルバム』を歌う時が近づいてきました。卒園児が大きな声で、力いっぱい思い出を胸に抱きしめ、歌ってほしいものです。

光陰矢のごとしで、6年間アツという間に過ぎてしまいました。人見知りしたり、お腹が空いて泣き叫んだり、隣のお友達の前にある果物に「おいしそうだなあ」と手をだして、先生を困らせたパンビ細時代、靴を自分一人で履けずペソをかいたヒヨコ細時代、誰よりも上手に汽車ポッポができるようになり、マリア様のご像の前で一時停車して、「アヴェ マリア」と祈って得意満面に笑顔を見せるコトリ組さん達朝の「ご挨拶」の時、「トントン前、トントン前と」きれいに並んでほめられたコネコ組さん時代、今日の散歩は誰と手をつなごうかなあ、気になるお友達奪い合いに注意された年長時代、みんな、みんな楽しい忘れてはいけない思い出ですネ。

3月は、会計年度だけではなく全てのことに『締めくり、年度総括』の月として重んじられております。カトリック保育園でも人間性教育について『4つの心、即ちあいさつ、ありがとう、あやまり合う、あたえ合う心』が生活の流れの中でしっかりと行ったかどうかを振り返り、心の軌道修正をする大切な月であることを鑑み、皆でカトリックならではの姿勢を身に付け、新しい、『たびだち』に備えていただきたいと思えます。

『4つの心』を言い表すことが出来れば、新しい場に行ってもすぐにお友達もできますし、あの子は信用できる子だなと自然にみなされ、学校は楽しいところだなと自信を持って益々社会性を高めていくことができるようになります。登校拒否も不登校も学級崩壊もなくなることでしょ。

『4つの心』のうち何か一つでも欠けると「和」が崩壊し、誤解されたり、争いのもとになったりしては感情的になって暴力の餌食になりかねません。「大きくなったら、だんだん挨拶もありがとうも言えるようになるから、今そんなにすすめなくともいいさ」と「タカ」をくっつけて、手抜き育児をしていると狼の皮をかぶった大人になること必定であることに目覚め、3月の目標達成に特に力を尽くしていただきたいものです。

『4つの心』の実践は、両親の胸に抱かれる時から始まるものです。心に刻んでほしいことですね。乳児の笑顔に元気を貰うことだけで終わるような育児からは、愛に生きる人間は誕生しません。自重自戒ものですネ！

ある幼稚園のできごとです。あと一ヶ月で小学校に行くY君は、まだ「おもらし」をして先生のお世話を受けている姿を見て、友だちのA君が先生に手紙を書きました。「先生、いつもアリガトウ！Y君のお世話をしてくれて！」先生はA君の手紙を見てすごく喜んだそうです。今までの苦労が癒されたおもいで心がいっぱいだったそうです。小学校に入学する子どもにも、他人の不安心配を自分のことのように「ありがとう」と言えるまで育てていることに、教えられることがあるような気がしてなりません。わが保育園に、そこまで成長している子が、果たして何人いるか危惧する自分です。

「あいさつ」はこころの窓であり交わりの門であることを子ども達に伝承し、お友達同士であいさつができるように呼び掛けましょう。挨拶如何で人柄があかされるといわれているだけに、そのやり方に配慮いたしましょう。

「ありがとう」は、自然の恵み、両親の愛に応える力、家族の絆、いのちの与え主である神への道

「謝り合う心」は、「ゆるしあうこころ」のあるところに和を創造し、改心の神秘に目覚める事に神は恵みを注ぐ。

「あたえ合う心」は、神が最も望む仕業、取引なし、無償の業である。他人の負の財産を自分のことのように受け入れる仕業、これで決まることを肝に銘じ、生涯学習と享け止めたいたいのですね。

神はあなたの愛と慈しみの心に、いつも共におられることを忘れずに、4つの心で新しい世界でベストを尽くされるよう胸を張って「たびだつて」ください。

14名の卒園児の皆様の上に神の御祝福が豊かにありますように！

カトリック古川教会 司 祭 川 井 啓

